第4次佐渡市地域福祉計画・地域福祉活動計画(素案)に対する意見【計画修正(案)】

ページ	意見	計画への反映
3	<p>第1章 計画の策定にあたって</p> <p>1 計画策定の趣旨</p> <p>令和6年元旦に発生した能登半島地震に生じた様々な事象は佐渡にも当てはまることが多くあるので、その事の記載が必要です。</p>	<p>【修正なし】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害ごとに災害名を記載する予定はないです。 ・東日本大震災が発生したことにより、災害対策基本法が改正された旨の記載済みです。 ・住民同士の支え合いや地域コミュニティの重要性が再認識されている旨を記載済みです。
3	<p>第1章 計画の策定にあたって</p> <p>1 計画策定の趣旨</p> <p>「重層的かつ包括的な事業への移行の検討を開始し」とあるが、佐渡市の行政で最も重要で直ちに改革しなければならず、検討開始ではなく、佐渡市の総力を挙げて直に取り組み、克服、実現するというような表現に変えるべきである。</p>	<p>【修正】</p> <p>このような状況下の中で、「第4次佐渡市地域福祉計画・地域福祉活動計画」（以降、「本計画」とします。）の策定にあたっては、住民同士の支え合いが継続、発展するよう、より柔軟な方向に変革していく視点を持ちつつ、<u>重層的かつ包括的な事業の推進と支援体制の充実を図るため、地域とのつながりの強化を目指します。</u></p>
4	<p>第1章 計画の策定にあたって</p> <p>2 地域共生社会の実現について</p> <p>「実現を目指します。」とあるが、全体的に取り組みに対する姿勢が弱く感じる。本気度を前面に打ち出し、佐渡市全体を巻き込み共生社会を実現するという、意気込みを表現して欲しい。</p>	<p>【修正】</p> <p>(前段省略)</p> <p>本市においても、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを醸成し、地域の住民、団体等が公的な福祉サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる「地域共生社会」の実現に向けて既存の相談支援体制や地域づくり支援等の取り組みを活かし、<u>関係機関と官民一体となり協働し地域福祉を推進します。</u></p> <p>本計画は、本市における地域共生社会を<u>実現するための</u>、ひとつの指針となるものです。</p>

<p>6</p>	<p>第1章 計画の策定にあたって 4 地域福祉を推進するにあたってのそれぞれの役割</p> <p>①地域福祉を推進するにあたっての役割で、地域福祉活動の中で自治会等が果たす役割は大きいことから、「地域・自治会」を記載すべきである。</p> <p>②本文、下から2行目に「市と佐渡市社会福祉協議会は連携して、支援・協力して取り組むことが必要です」とありますが、下段の図では、市と社協は「連携・協力」して、市民・関係団体等を「支援・協力」するようになっているので、図と合わせ「市と佐渡市社会福祉協議会は連携・協力して、市民等の活動を支援することが必要です」とかになるのでは。</p>	<p>【修正】 （前段省略）</p> <p>①そのためには、市民をはじめ<u>地域や自治会</u>、民生委員・児童委員、ボランティア、NPO、学校、企業、福祉サービス事業所などの関係者（機関）が、地域福祉活動の重要な担い手となることが求められます。</p> <p>計画を推進していくためには、市民を中心に<u>地域・自治会や関係者（機関）</u>が協力してそれぞれの役割や責務を果たしながら、互助の精神、絆を持ち、協働して取り組んでいくことが必要です。</p> <p>②また、市（行政）と佐渡市社会福祉協議会は<u>連携・協力</u>して、<u>市民等の活動を支援</u>することが必要です。</p>
<p>7</p>	<p>第1章 計画の策定にあたって 5 計画の位置づけ</p> <p>改正社会福祉法の条文が掲載されていますが、第107条第1項第3号と第4号が重複しています。また、現行の社会福祉法の内容と違っていると思いますが、令和3年時点では、この内容で正しいか。</p>	<p>【修正】 （前段省略）</p> <p><u>(1) 地域における高齢者の福祉、障害者の福祉、児童の福祉その他の福祉に関し、共通して取り組むべき事項</u></p> <p><u>(2) 地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項</u></p> <p><u>(3) 地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する事項</u></p>

22	<p>第2章 地域福祉を取り巻く現状と課題 「基本目標1 思いやりの心を育むまちづくり」について</p> <p>「主な課題」には「様々な世代が～」とありますが、「次期計画への引継ぎ」には「若い世代から」とあり、整合性がないように思います。書きぶりの工夫だと思いますが、連動した内容になるようにする必要はある。</p>	<p>【修正】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>様々な世代</u>が自分のことだけでなく、周りの人や地域の人々を大切に思い、それぞれの考えや生き方を尊重し、ともに生きる力を養うための福祉教育に取り組みます。
23	<p>第2章 地域福祉を取り巻く現状と課題 「基本目標2 支え合い助け合うまちづくり」について</p> <p>①「親子で参加できるボランティア活動の実施」は、「(2)子育てにやさしい地域づくり」とは視点が異なるように思います。</p> <p>②「地域活動を担う人材の育成」は第3次計画以前からも示されているが、中々実現の到達点が見えない課題であり、もう少し切り込んで表現できないか。</p>	<p>【修正】</p> <p>① <u>子育てを支援する読み聞かせ</u>などのボランティアを確保する必要があります。</p> <p>② <u>地域福祉分野での人材の育成にとどまらず、福祉分野以外においても地域福祉を理解し活動を担うことができる人材の育成</u>に取り組みます。</p>
24	<p>第2章 地域福祉を取り巻く現状と課題 「基本目標3 健やかに安心して暮らせるまちづくり」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもから高齢者まで、障がいの有無に関わらず誰もが気軽に集える居場所を確保し、自分たちが住む地域をよりよいものにするための話し合いの場を提供する必要があります。 	<p>【修正】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>子ども、高齢者、障がいの有無に関わらず、誰もが気軽に集える居場所を確保し、自分たちが住む地域をよりよいものにするための話し合いの場を提供</u>する必要があります。

30	<p>第4章 計画のめざすところ 「基本方針1 つながり、支え合うまちづくり」 1-(1)支え合い意識の高揚と活動への支援</p> <p>「住民自ら住みやすい地域づくりを行う組織活動を支援します。また……」</p> <p>組織活動とは自治会、その他の地域組織、自主防災会等々多岐に亘っているが、どの範囲、或いは具体的な対象はあるのか、意味が分かりづらいので、はっきりと示して欲しい。</p>	<p>【修正】 住民自ら住みやすい地域づくりを行う自治会、福祉活動団体、自主防災会等の活動を支援します。</p>
31	<p>第4章 計画のめざすところ 「基本方針1 つながり、支え合うまちづくり」 1-(1)支え合い意識の高揚と活動への支援</p> <p>主な事業や取り組みについて、防災訓練の参加や炊き出し訓練の参加にもっと幅広い年齢層の人がいて欲しい。日赤の活動への呼びかけや理解。</p>	<p>【追記】 〔行政の取り組み〕 <u>ボランティア活動を通じて地域社会に寄与する赤十字奉仕団の活動及び啓発支援に努めます。</u></p>
36	<p>第4章 計画のめざすところ 「基本方針1 つながり、支え合うまちづくり」 1-(3)子育てにやさしい地域づくり</p> <p>子ども会育成会の位置づけは考えているか。各地域に存在し、活動している子ども会育成会は重要な役割を果たし、今後も活動の継続と改革・発展を十分担うであろう組織で、子ども会育成会と地域の協働活動も示すべきではないか。</p>	<p>【追記】 〔地域など〕 <u>様々な活動において地域と子ども会との異世代交流を行い、活動を通じて地域全体で子育てを支える意識の醸成や、地域への愛着心を育みましょう。</u></p>

39	<p>第4章 計画のめざすところ</p> <p>「基本方針2 健やかな暮らしを支えるまちづくり」</p> <p>2-(1)地域での見守り・声かけ体制づくり</p> <p>ICTを活用した見守り活動について</p> <p>ICTツールを活用した見守り活動は当然の事として、課題は、村社会的構造が色濃く残る佐渡市では、行政、社協、社会福祉関連団体、自治会、企業等々が一体となって協働で活動を行う事が課題である。重層的かつ包括的な事業への移行を実現する為には、佐渡市の全ての組織が協働でICTを活用することが求められる。この事について記載して欲しい。</p>	<p>【追記】</p> <p>〔行政〕</p> <p>A案 <u>ICTを活用したシームレスな包括ケア体制を強化し、幸せで健康にくらせるまちづくりを目指します。</u></p> <p>B案 <u>地域の力とICTを活用した見守り体制の構築を目指します。</u></p>
40	<p>第4章 計画のめざすところ</p> <p>「基本方針2 健やかな暮らしを支えるまちづくり」</p> <p>2-(1)地域での見守り・声かけ体制づくり</p> <p>○支え合いマップづくり事業</p> <p>本事業は見守り対象者を地図上にプロットして示すものと思うが、氏名が記載されていなくとも、集落内では誰かを特定できるものである。避難行動要支援者の場合でも、マップ等は集落長、民生委員等特定の人にしか渡っておらず、地域住民への周知・開示は本人の了承と最小限の情報しか示していない。</p> <p>本事業については、個人情報保護法等々に十分配慮し、住民のコンセンサスを確実に得られる「制度設計」を策定した上で進めるべきである。</p>	<p>【修正なし】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見のとおり、世帯数が多く多様な方々が居住する自治会等での実施の困難さや個人情報等の課題があります。 ・一方、高齢化率が高い集落や実際に住民が助け合う小さな範囲で実施され、助け合いの仕組みづくりや仲間づくりにつながる集落等の事例もあります。 ・佐渡市全体で実施する課題はありますが、ご意見のとおり、個人情報等に十分に配慮し、実施する集落等住民ニーズに合わせて進めてまいります。

43	<p>第4章 計画のめざすところ 「基本方針2 健やかな暮らしを支えるまちづくり」 2-(2)相談支援、情報提供体制の充実</p> <p>地域での見守り・声かけ体制づくり 各種相談窓口の機能強化とあるが、窓口が分かれ過ぎている。福祉関連の相談窓口は一本化し、ワンストップで処理できないか。</p>	<p>【修正なし】</p> <p>・間口を広げ各相談を受けながら、専門機関につなげることが重要であり、現在も各種窓口で受けた相談は関係機関で情報共有ができている。</p>
49	<p>第4章 計画のめざすところ 「基本方針3 安全安心で住みやすいまちづくり」 3-(1)地域の防災・防犯体制づくり</p> <p>避難行動要支援者リストの点検実施。</p>	<p>【追記】 〔行政の取り組み〕 <u>避難行動要支援者名簿を更新する際は、地域や民生委員・児童委員の協力を得て、支援を要する方が登録されるように努めます。</u></p>
52	<p>第4章 計画のめざすところ 「基本方針3 安全安心で住みやすいまちづくり」 3-(2)暮らしやすい生活環境づくり</p> <p>○行政・社会福祉協議会が取り組むこと マナーについて、佐渡市全体の問題であり、告知・醸成については行政が主体となり市民に訴える事が肝要であることから、行政の取り組みとして記載すべきである。</p> <p>○市民・地域に期待される役割やできること 「地域内で不便を感じる場所がないか確認し、可能な範囲で改善に取り組む」とあるが、改善費用も含めてのことか、行政へ要望することになるのか漠然としている。</p>	<p>【追記】 〔行政の取り組み〕 <u>○思いやりのあふれるまちづくりを実現するため、市民のモラルやマナーを向上するための広報・啓発活動に取り組みます。</u></p> <p>【修正】 〔地域の取り組み〕 ○<u>地域内で高齢者や障がい者が不便を感じる箇所がないか確認し、市や社会福祉協議会への情報提供や地域で可能な改善に取り組ましよう。</u></p>

58	<p>第5章 計画の推進に向けて 2 それぞれの役割</p> <p>(3) 民生委員・児童委員の役割</p> <p>①主任児童委員の役割を追記して欲しい。 ②自治会との連携・協力も欠かせないため、文言の中に「自治会」を入れるべきである。</p>	<p>【追記】</p> <p>(3) 民生委員・児童委員、<u>主任児童委員</u>の役割</p> <p>民生委員・児童委員は、様々な生活課題を抱える人にとって、身近な相談相手となり、その人が適切な福祉サービスを得られるよう情報提供を行うことが求められます。また、<u>児童委員の中には、子どもや子育てに関する支援を専門的に担当する主任児童委員がいます。多様化する生活課題に対応するため、地域・自治会をはじめ行政や関係機関・社会福祉協議会、専門機関と連携・協力することで、課題の解決を支援する地域福祉活動に取り組むことが期待されます。</u></p>
65	<p>第6章 佐渡市成年後見制度利用促進基本計画 5 成年後見制度推進の施策 (3) 具体的な取り組み</p> <p>養成はどの程度の人数を考えているか。また、募集等を行っているかを示して欲しい。</p>	<p>【修正なし】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民後見人の需要は増加していることから、毎年10人程度の養成に努めている。 ・市民後見人養成講座を実施する際は、受講者を募集している。
69	<p>第7章 佐渡市再犯防止推進計画 7 再犯防止推進の取り組み (2) 保健福祉サービス等支援施策の活用促進</p> <p>現状、地域で「犯罪をした者等」について見守るという認識は薄いと思う。この見守り活動を市民に浸透させる告知・PRは欠かせない。この辺の所を明示して欲しい。</p>	<p>【追記】</p> <p>○地域での見守り活動</p> <p><u>日頃から地域の安全や孤立予防などの地域の見守り活動を推進するため、その活動や意義が市民に広がるよう周知・啓発に取り組みます。</u></p>